

豊明市行政評価制度 「施策」 評価票

施策評価票番号	2
---------	---

1 ■ 施策の概要

1 - 1 施策の名称	生活環境の向上				基本施策コード	1—1—2
1 - 2 担当	部	市民部	課 又は施設	環境課	評価票作成者	環境課長 加藤 慎
1 - 3 総合計画に おける施策の体系	節	生活環境「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」				
	項	環境保全				
1 - 4 施策の目的	公害の無い良好な環境を形成し、美しい町をつくる。					

	平成 2 2 年度評価 （前期の成果）	平成 2 7 年度評価 （全期間の成果）
担当課評価	A	
総合評価	A	

- 施策評価の判定基準
A ： 施策の目的を効果的に達成しているので継続する
B ： 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1 - 5 総合計画に おける基本成果指 標		基本成果指標名	前期（平成 1 8 年度～平成 2 2 年度）			全期間（平成 2 3 年度～平成 2 7 年度）			指標の定義
			目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）	目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）	
			7 8 . 0 （％）	78.9	101.2	8 0 . 0 （％）			
		公害の少なさに対する満足度							生活環境施策全般の充実状況を表す指標

2 ■ 施策の担当課による評価結果

評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
	平成18年度	生活環境公害の発生の抑止を行う必要がある。	住工混在地区における良好な生活環境の確保が求められている。	個々の生活関連苦情につき、丁寧に対応した。
	平成19年度	休日等の苦情に対しても迅速に対応できるように環境監視員を2人体制にした。	休日・祝日を問わず常時化し体制を望んでいる。	環境に伴う騒音・悪臭苦情に迅速に対応を行い、公害化する前に対応を行った。
	平成20年度	調整区域内での公害の発生を抑える。	調整区域内への工場の進出に対し、地元住民との調整を事前に謀る必要がある。	環境監視員を完全 2 人制にし、休日監視体制を整えた。
	平成21年度	生活環境公害の発生の抑止を行う必要がある。	苦情に休日・祝日を問わず対応する体制を続ける。	個々の生活関連苦情につき、丁寧に対応した。
	平成22年度	公害のない良好な生活環境を保全する。		
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

3 ■ 参考情報

[illegible]